

令和元年9月27日
道路局高速道路会社への事業許可および
スマートインターチェンジの準備段階調査への採択等を行いました

国土交通省は、

- ・スマートインターチェンジ10箇所を追加
- ・令和元年10月1日からの消費税引上げに伴う高速道路料金

について、本日付で高速道路会社へ事業許可を行いました。

併せて、以下について行うこととしましたのでお知らせいたします。

- ・スマートインターチェンジについて、新たに9箇所準備段階調査への採択
- ・スマートインターチェンジの大型車対応・24時間化の実施（1箇所）
- ・追加インターチェンジ（無料区間）1箇所の追加

別添①：高速道路会社への事業許可等について

別添②：スマートインターチェンジの新規事業化等について

別添③：スマートインターチェンジの準備段階調査について

別添④：追加インターチェンジ（無料区間）について

参考資料①：スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

参考資料②：追加インターチェンジ（無料区間）設置箇所の整備効果

<問い合わせ先>

国土交通省 道路局 代表 TEL 03-5253-8111

（事業許可全般について）

高速道路課 依田、久保（内線：38314、38315）

（スマートインターチェンジについて）

高速道路課 依田、柘津（内線：38314、38315）

（消費税引上げに伴う高速道路料金への転嫁について）

高速道路課 濱口（内線：38314、38315）

直通：03-5253-8500 FAX：03-5253-1619

（追加インターチェンジ（無料区間）について）

国道・技術課 関（内線：37832）

直通：03-5253-8492 FAX：03-5253-1620

1. 高速道路会社への事業許可

① スマートインターチェンジの新設関係

事業名		内容	事業主体
とうほくじゅうかん ひろさき 東北縦貫自動車道弘前線	きたかみ え づりこ はなまきみなみ 北上江釣子IC～花巻南IC	はなまき 花巻PA スマートIC(仮称)	NEXCO 東日本 (岩手県、 花巻市)
とうほくちゅうおう 東北中央自動車道 そうまおばなざわ 相馬尾花沢線	やまがたかみのやま やまがたちゅうおう 山形上山IC～山形中央IC	やまがた 山形PA スマートIC(仮称)	NEXCO 東日本 (山形市)
じょうばん 常磐自動車道	なみえ みなみそうま 浪江IC～南相馬IC	おだか 小高スマートIC(仮称)	NEXCO 東日本 (南相馬市)
じょうばん 常磐自動車道	やわら やたべ 谷和原IC～谷田部IC	つくばみらいスマートIC (仮称)	NEXCO 東日本 (つくばみらい市)
とうほくじゅうかん ひろさき 東北縦貫自動車道弘前線	いわつき くき 岩槻IC～久喜IC	はすだ 蓮田スマートIC ※フル化	NEXCO 東日本 (埼玉県、 蓮田市)
ちゅうおう にしのみや 中央自動車道西宮線	すわ おかや 諏訪IC～岡谷JCT	すわこ 諏訪湖スマートIC(仮称)	NEXCO 中日本 (諏訪市、 岡谷市)
とうかいほくりく 東海北陸自動車道	ごかやま ふくみつ 五箇山IC～福光IC	じょうはな 城端SAスマートIC(仮称)	NEXCO 中日本 (南砺市)
だいいちとうかい 第一東海自動車道	おかざき とよた 岡崎IC～豊田JCT	おかざきあちわ 岡崎阿知和スマートIC (仮称)	NEXCO 中日本 (岡崎市)
だいいちとうかい 第一東海自動車道	とうめいみよし なごや 東名三好IC～名古屋IC	とうごう 東郷スマートIC(仮称)	NEXCO 中日本 (日進市)
しこくじゅうかん 四国縦貫自動車道	となり わきまち 土成IC～脇町IC	あわ 阿波スマートIC(仮称)	NEXCO 西日本 (阿波市)

② 令和元年10月1日からの消費税引上げに伴う高速道路料金

消費税引上げに伴う高速道路料金への転嫁については以下のとおり。

- (1) 消費税が10%となるよう料金に適正に転嫁。
- (2) 端数処理の単位は、現行どおり(原則10円単位、四捨五入。)
- (3) 端数処理の結果、会社全体として110/108以内の増収となるよう調整。

※消費税引上げ後の料金の詳細については、各高速道路会社にお問い合わせください。

2. スマートインターチェンジの準備段階調査の採択

事業名		内容
ほっかいどうおうだん 北海道横断自動車道 くろまつないくしろ 黒松内釧路線	おとふけおびひろ いけだ 音更帯広IC～池田IC	おさるし 長流枝スマートIC(仮称)
とうほくちゅうおう そうまおばなざわ 東北中央自動車道相馬尾花沢線	やまがた てんどう 山形JCT～天童IC	てんどうみなみ 天童南スマートIC(仮称)
一般国道13号 よねざわなんよう 米沢南陽道路	よねざわきた なんようたかはた 米沢北IC～南陽高畠IC	たかはた 高畠スマートIC(仮称)
とうほくじゅうかん ひろさき 東北縦貫自動車道弘前線	くにみしろいし 国見IC～白石IC	しろいしちゅうおう 白石中央スマートIC(仮称)
じょうばん 常磐自動車道	みさと ながれやま 三郷JCT・IC～流山IC	みさとりょうきんじよ 三郷料金所スマートIC ※フル化
ほくりく 北陸自動車道	にしやま ながおか 西山IC～長岡JCT	おおづみ 大積スマートIC(仮称)
だいちとうかい 第一東海自動車道	みっかび とよかわ 三ヶ日JCT～豊川IC	とよはししんしろ 豊橋新城スマートIC(仮称)
ちゅうぶおうだん 中部横断自動車道	しんしみず とみざわ 新清水JCT～富沢IC	りょうごうち 岡河内スマートIC(仮称)
ひがしきゅうしゅう 東九州自動車道	たかなべ さいと 高鍋IC～西都IC	しんとみ 新富スマートIC(仮称)

3. スマートインターチェンジの大型車対応・24時間化

事業名	内容	事業主体
さんよう すいたやまぐち 山陽自動車道吹田山口線	おかやま おかやま 岡山IC～岡山JCT	きび 吉備スマートIC
		NEXCO 西日本 (岡山市)

4. 追加インターチェンジ(無料区間)

事業名	内容	事業主体
しこくおうだん 四国横断自動車道 あなんしまんと 阿南四万十線	あなん こまつしま 阿南IC～小松島IC	たつえくしぶち 立江櫛漕IC(仮称)
		国 徳島県

スマートインターチェンジ※1新規事業化等箇所 一覧表

別添②

(単位:百万円)

スマートインターチェンジの名称(仮称)※2	連結位置	路線名	R1事業費※3
はなまき 花巻PA	岩手県花巻市	東北縦貫自動車道弘前線(北上江釣子IC～花巻南IC間)	5.4
やまがた 山形PA	山形県山形市	東北中央自動車道相馬尾花沢線(山形上山IC～山形中央IC間)	5.4
おだか 小高	福島県南相馬市	常磐自動車道(浪江IC～南相馬IC間)	5.4
つくばみらい	茨城県つくばみらい市	常磐自動車道(谷和原IC～谷田部IC間)	5.4
はすだ 蓮田(フル化)	埼玉県蓮田市	東北縦貫自動車道弘前線(岩槻IC～久喜IC間)	5.4
すわこ 諏訪湖	長野県諏訪市 長野県岡谷市	中央自動車道西宮線(諏訪IC～岡谷JCT間)	5.4
じょうはな 城端SA	富山県南砺市	東海北陸自動車道(五箇山IC～福光IC間)	5.4
おかざきあちわ 岡崎阿知和	愛知県岡崎市	第一東海自動車道(岡崎IC～豊田JCT間)	5.4
とうごう 東郷	愛知県日進市	第一東海自動車道(東名三好IC～名古屋IC間)	5.4
あわ 阿波	徳島県阿波市	四国縦貫自動車道(土成IC～脇町IC間)	5.4
きび 吉備※4	岡山県岡山市	山陽自動車道吹田山口線(岡山IC～岡山JCT間)	-

※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

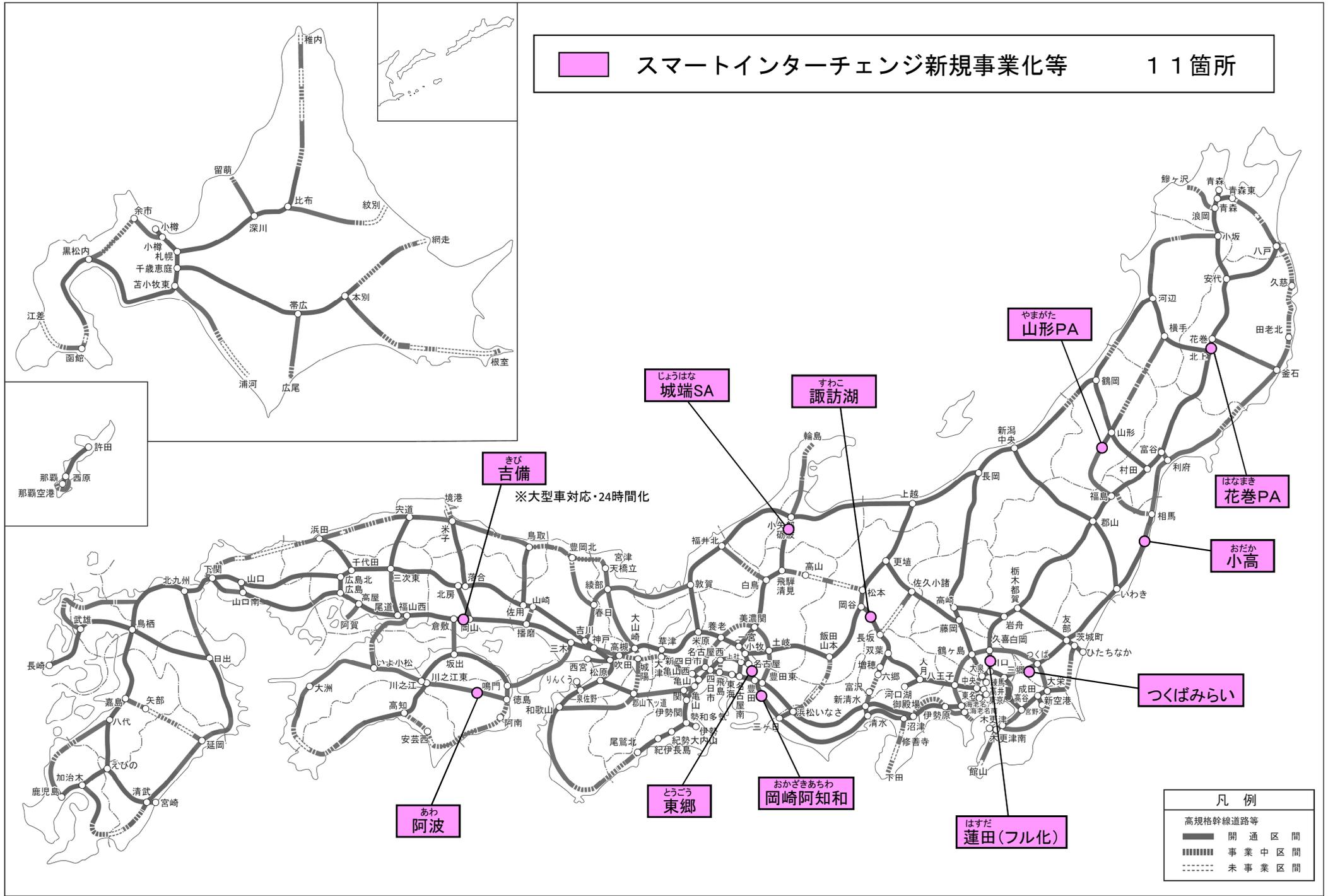
※3 事業費は高速道路機構への補助対象分であり、地方が整備する高速道路の区域から既設の一般道路までの道路などは含みません。

※4 大型車対応、24時間化

スマートインターチェンジ新規事業化等箇所図

別添②

スマートインターチェンジ新規事業化等 11箇所



※大型車対応・24時間化

凡例

高規格幹線道路等
—— 開通区間
事業中区間
----- 未事業区間

スマートインターチェンジ^{※1}新規準備段階調査箇所 一覧表

別添③

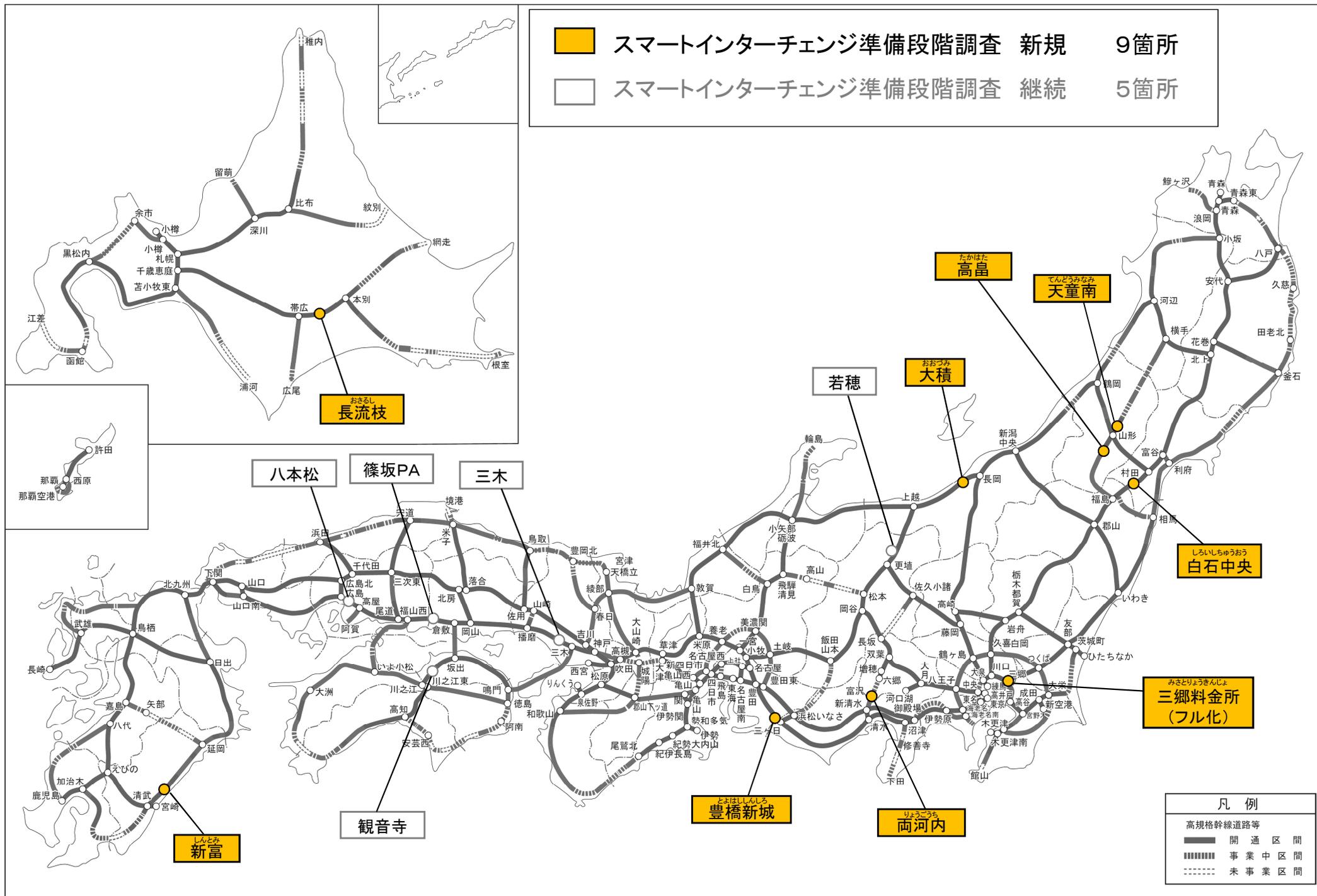
スマートインターチェンジの名称(仮称) ^{※2}	検討位置	路線名
おさるし 長流枝	北海道河東郡音更町	北海道横断自動車道黒松内釧路線(音更帯広IC～池田IC間)
てんどうみなみ 天童南	山形県天童市	東北中央自動車道相馬尾花沢線(山形JCT～天童IC間)
たかはた 高畠	山形県東置賜郡高畠町	一般国道13号 米沢南陽道路(米沢北IC～南陽高畠IC間)
しろいし ちゅうおう 白石中央	宮城県白石市	東北縦貫自動車道弘前線(国見IC～白石IC間)
みさと りょうきんじょ 三郷料金所(フル化)	埼玉県三郷市	常磐自動車道(三郷JCT・IC～流山IC間)
おおづみ 大積	新潟県長岡市	北陸自動車道(西山IC～長岡JCT間)
とよはし しんしろ 豊橋新城	愛知県豊橋市 愛知県新城市	第一東海自動車道(三ヶ日JCT～豊川IC間)
りょうごうち 両河内	静岡県静岡市	中部横断自動車道(新清水JCT～富沢IC間)
しんとみ 新富	宮崎県児湯郡新富町	東九州自動車道(高鍋IC～西都IC間)

※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

スマートインターチェンジ準備段階調査箇所図

別添③



追加インターチェンジ(無料区間)^{※1} 一覧表

別添④

インターチェンジの名称(仮称) ^{※2}	路線名 ^{※3}	申請者	連結位置
<small>たつえ 小松島</small> 立江櫛漕インターチェンジ	四国横断自動車道阿南四万十線(阿南IC～小松島IC間)	徳島県知事	徳島県小松島市

※1 追加インターチェンジ(無料区間)とは、直轄で建設・管理する区間の高速道路に追加整備するインターチェンジです。

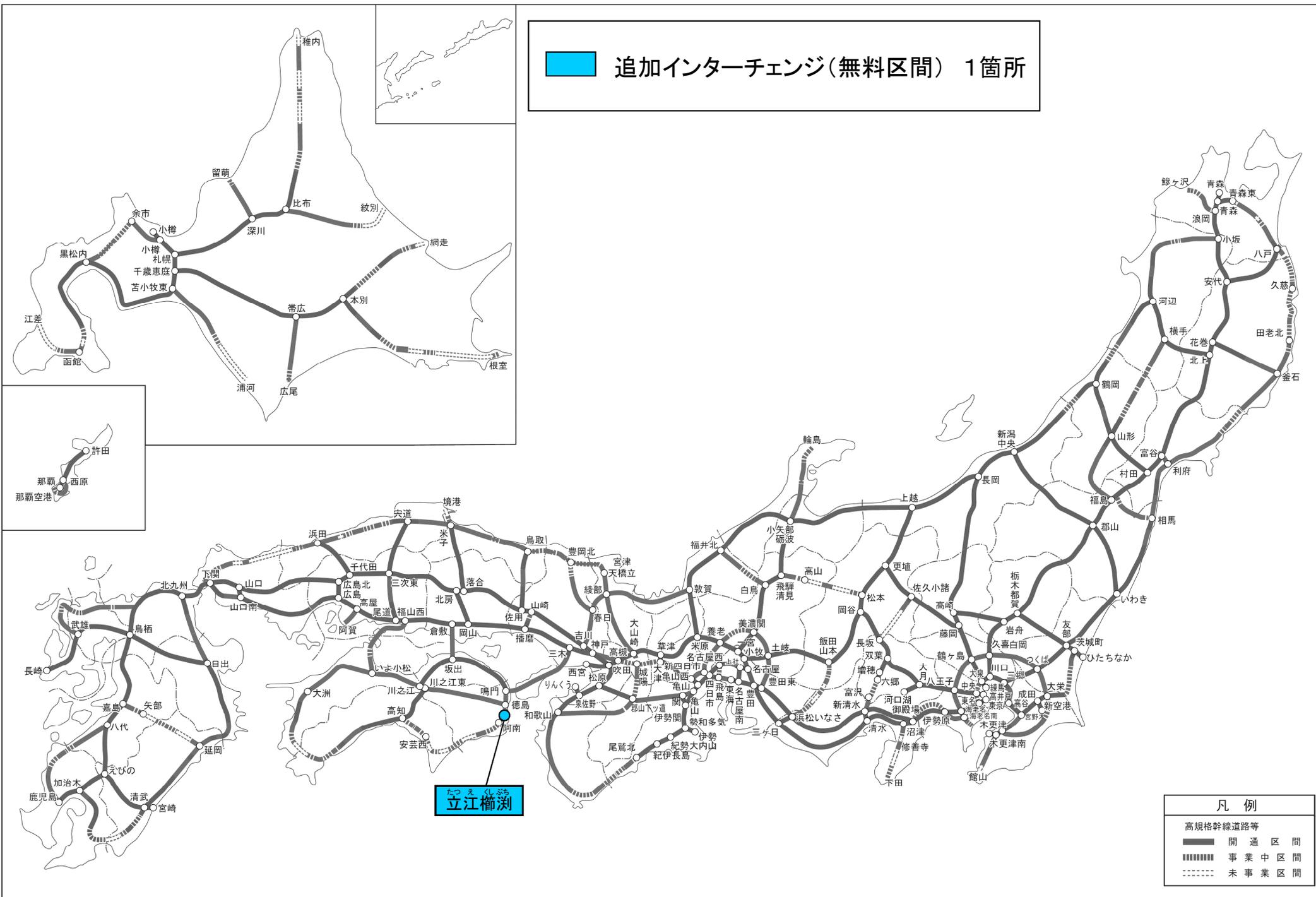
※2 追加インターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※3 未供用のIC、JCTは仮称です。

追加インターチェンジ(無料区間)箇所図

別添④

追加インターチェンジ(無料区間) 1箇所



凡例	
高規格幹線道路等	
—	開通区間
	事業中区間
.....	未事業区間

東北中央自動車道 ^{やまがた}山形PAスマートIC(仮称)

<概要>

路線名 : 東北中央自動車道
(山形上山IC ~ 山形中央IC間)

設置場所 : 山形県山形市

接続形式 : SA・PA接続型

形式 : 全方向(4 / 4)

運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 産業振興

・スマートICの整備により、工業団地や農産物集出荷所から主要渋滞箇所を通過することなく、東北中央自動車道へアクセスが可能となり輸送の利便性向上が期待される。



整備効果 交流人口の拡大

・スマートICの整備により、温泉施設や屋内外のスポーツ施設が整備された西公園を中心とした観光・レクリエーション施設へのアクセスが向上し、交流人口の拡大が期待される。



スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

参考資料

常磐自動車道 小高スマートIC (仮称)

< 概要 >

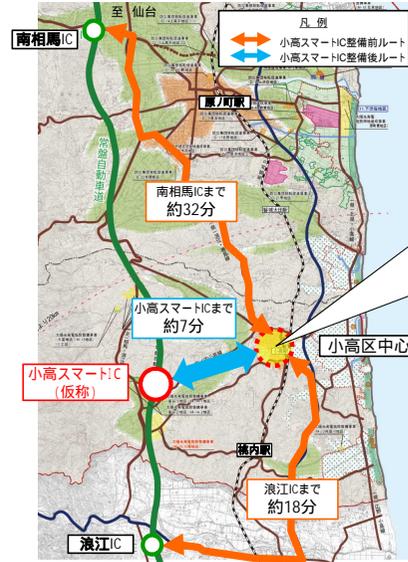
- 路線名 : 常磐自動車道
(浪江IC ~ 南相馬IC間)
- 設置場所 : 福島県南相馬市
- 接続形式 : 本線直結
- 形式 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

< 位置図 >

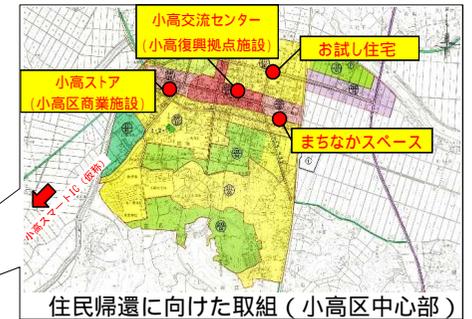


整備効果 小高区中心部へのアクセス向上

- ・小高区中心部では、住民帰還に向けた取組として、復興拠点施設である小高交流センターなどが整備されている。
- ・スマートICの整備により、市外や県外の避難者が小高区にアクセスする際の利便性が向上し、居住・定住の促進が期待される。



小高区中心部とICアクセス状況



住民帰還に向けた取組 (小高区中心部)



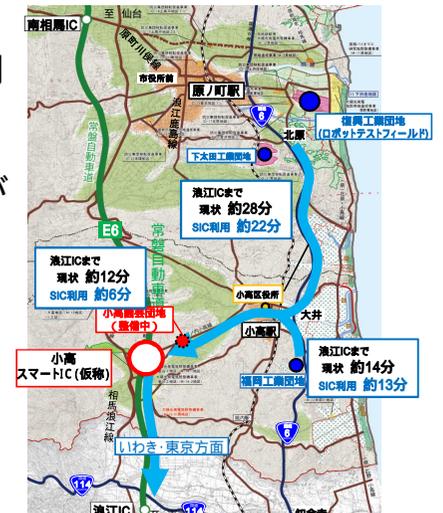
小高交流センター利用状況

整備効果 産業振興

- ・スマートICの整備により、企業の事業再開の加速や企業の誘致促進が期待される。
- ・「小高園芸団地」の整備を進めており、周年栽培による農産物出荷の輸送効率化が期待される。



小高園芸団地完成イメージ



主要工業団地の関東方面へのアクセス

スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

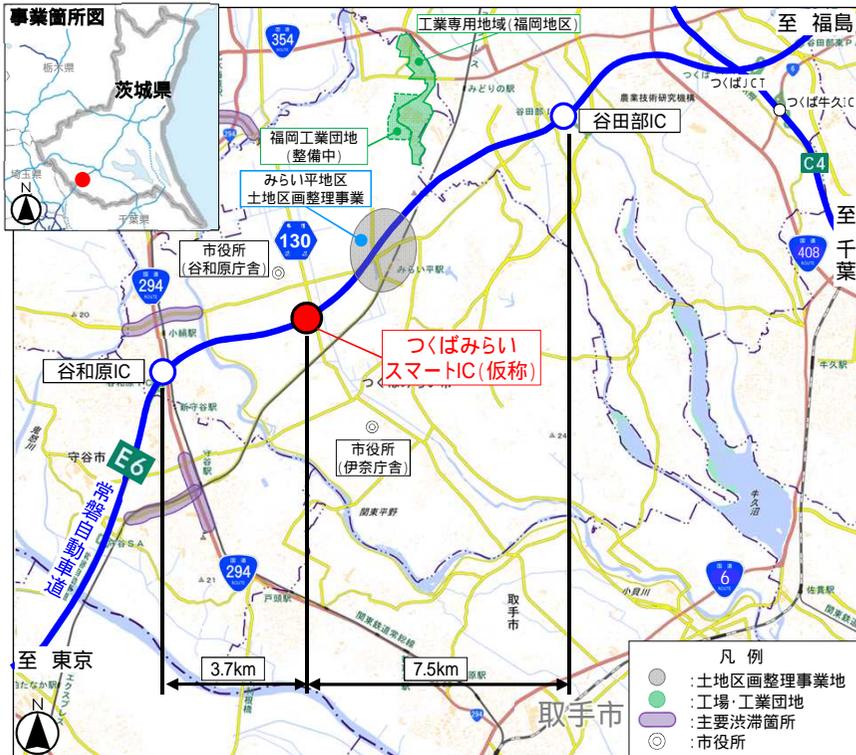
参考資料

常磐道 つくばみらいスマートIC(仮称)

<概要>

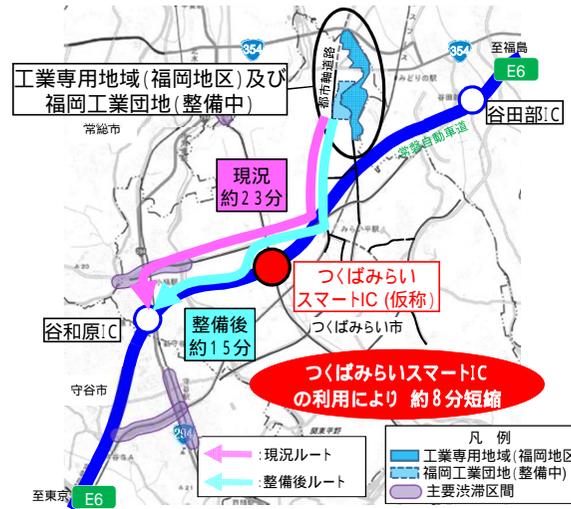
- 路線名 : 常磐自動車道
(谷和原IC ~ 谷田部IC間)
- 設置場所 : 茨城県つくばみらい市
- 接続形式 : 本線直結型
- 形式 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 企業誘致の促進・物流の効率化

つくばみらいスマートICの整備により、整備中の福岡工業団地や既存の福岡地区の工業専用地域からの高速道路へのアクセスが向上し、企業誘致の促進や物流の効率化が期待される。



整備効果 周辺開発・地域産業の育成と活性化

つくばみらい市では、福岡工業団地の整備やワープステーション江戸周辺への映像関連産業の企業誘致展開、スマートIC周辺における新たな産業拠点構想の立案等、地域の活力となる産業の創出に取り組んでいる。

つくばみらいスマートICの整備により、市の魅力・特性を生かした地域産業の育成と活性化が期待される。



開発箇所	状況	規模
みらい平地区	供用	約275ha
福岡工業団地	整備中	約32ha
ワープステーション江戸周辺	構想中	
スマートIC周辺	構想中	

ワープステーション江戸 概要

時代劇のオープンセットが建ち並び、国内屈指の野外型ロケ施設。明治・大正・昭和のビル街や商店街を表現した「近現代エリア」の拡張工事が完了し、平成31年1月より一般公開を開始。



スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

参考資料

東北自動車道 蓮田スマートIC (フル化・大型車対応化) <概要>

- 路線名 : 東北自動車道
(岩槻IC ~ 久喜IC間)
- 設置場所 : 埼玉県蓮田市
- 接続形式 : SA・PA接続型
- 形式 : 全方向 (4/4)
現在は東京方面出入りのみ
- 運用形態 : 全車種 (車長12m以下) 24時間
現在は小型車限定 (車長6m以下) に制限

<位置図>



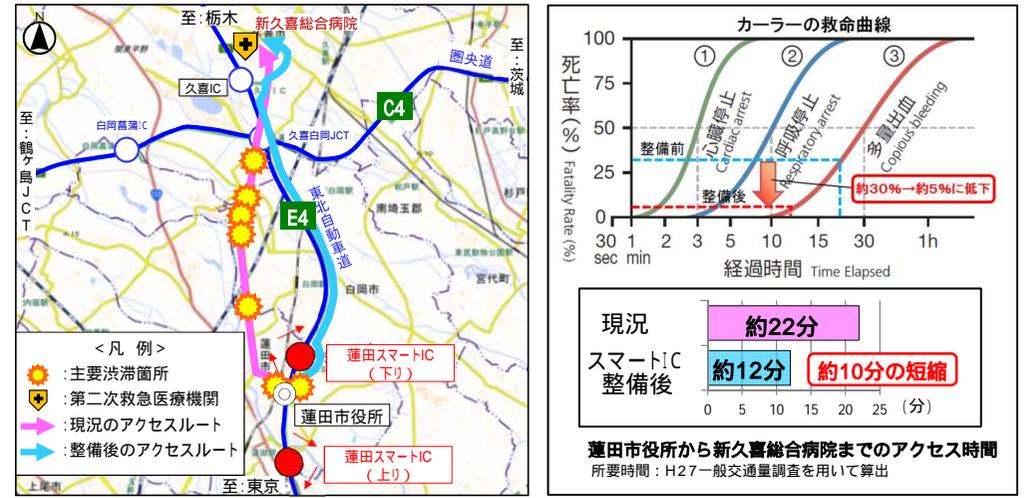
整備効果 交通分散による渋滞緩和・物流機能強化

・蓮田スマートICの整備により交通が分散することで、岩槻IC・久喜IC周辺の渋滞緩和や、物流の効率化が図られる。



整備効果 地域医療サービスの向上

・蓮田スマートICの整備により、蓮田市役所から第二次救急医療機関である新久喜総合病院まで一般道の主要渋滞箇所を回避したアクセスが可能となり、地域医療サービスの向上に寄与。



スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

参考資料

中央自動車道 諏訪湖スマートIC (仮称)

< 概要 >

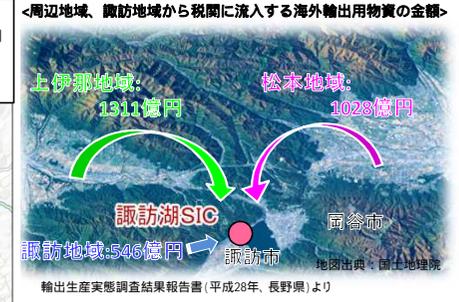
- 路線名 : 中央自動車道
(諏訪IC ~ 岡谷JCT間)
- 設置場所 : 長野県諏訪市、岡谷市
- 接続形式 : SA・PA接続型
- 形式 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種(車長12m以下) 24時間

< 位置図 >



整備効果 地域産業の発展

- ・諏訪地域は精密産業が盛んで、双眼鏡等で世界トップメーカーの企業も立地。
- ・第一精密工業団地内には県内唯一となる税関があり、県内の4割を占める諏訪、松本圏域を含めた海外輸出用物資(2,885億円/年)の輸出手続きを行うことができ、住宅街や混雑を回避した輸送ルート確立により県内産業に貢献する。



整備効果 観光の振興

- ・当地域では「諏訪湖周自転車推進計画」を策定しており、整備予定の(仮称)諏訪湖スマートICとの相乗効果により長期滞在化を図り、5年後に宿泊者数が22%増の年間152万人を目指している。スマートICの整備により諏訪湖へのアクセス性・利便性が向上し、観光資源の有機的連携と観光振興が期待される。



上諏訪温泉(観光客数約400万人/年) ※平成29年観光地利用者統計調査結果(長野県)

諏訪湖祭湖上花火大会(来場者数約50万人) ※平成30年諏訪湖祭実行委員会発表

東名高速道路

<概要> **岡崎阿知和スマートIC (仮称)**

路線名 : 東名高速道路
(岡崎IC ~ 豊田JCT間)

設置場所 : 愛知県岡崎市
接続形式 : 本線直結型
形式 : 全方向 (4/4)
運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 交通分散による混雑緩和

・岡崎阿知和スマートICの整備により、周辺の工業団地から一般道の渋滞を回避した高速道路へのアクセスが可能となることから、交通分散による幹線道路の混雑緩和や高速道路へのアクセス時間短縮が期待される。



整備効果 阿知和地区工業団地の企業誘致・雇用促進

・岡崎阿知和スマートICの整備により、隣接する阿知和地区工業団地 (事業中) から高速道路へのアクセス性が向上し、工業団地の企業誘致促進及び新規雇用創出が期待される。



スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

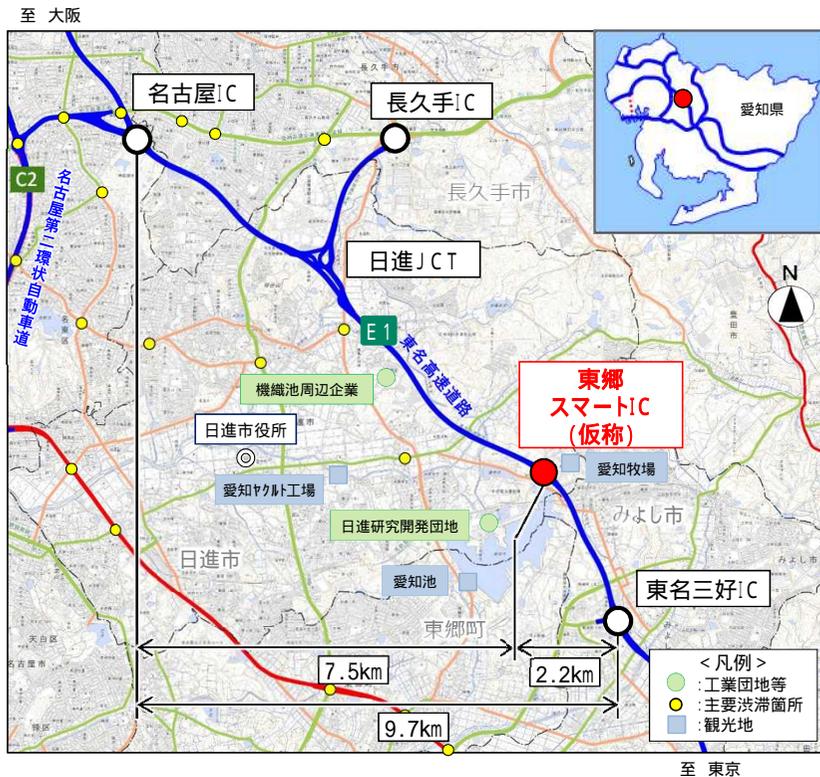
参考資料

東名高速道路 東郷スマートIC (仮称)

< 概要 >

- 路線名 : 東名高速道路
 (名古屋IC ~ 東名三好IC間)
- 設置場所 : 愛知県日進市
- 接続形式 : SA・PA接続型
- 形式 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

< 位置図 >

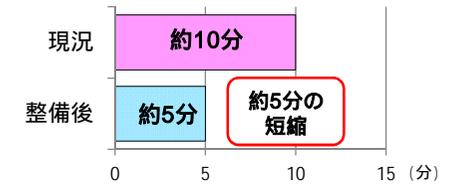


整備効果 物流効率化・産業振興

・東郷スマートICの整備により、周辺企業から高速道路へのアクセス時間が短縮し、物流の円滑化による生産性の向上が期待できる。

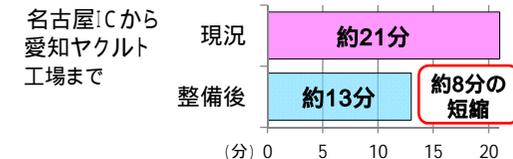
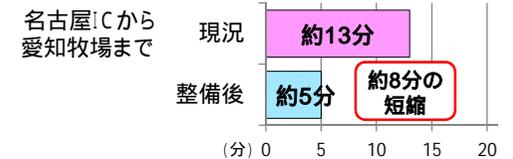
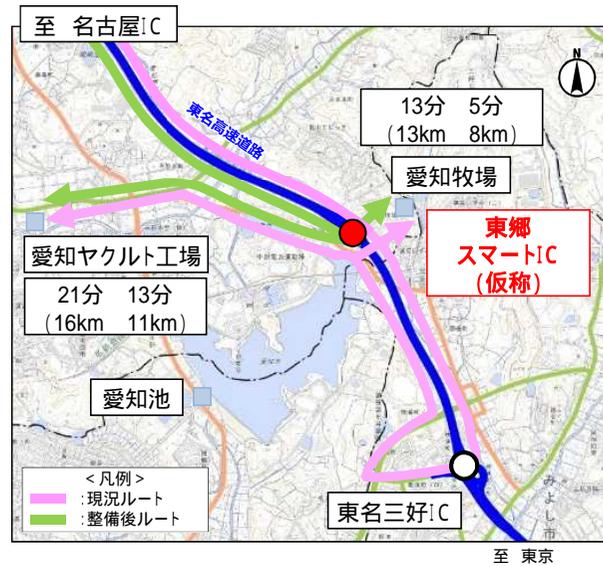


日進研究開発団地から東名三好ICまでのアクセス時間の変化



整備効果 観光振興

・東郷スマートICの整備により、観光施設へのアクセス時間が短縮し、観光客の増加、地域活性化が期待される。



スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

参考資料

徳島自動車道 阿波スマートIC (仮称)

< 概要 >

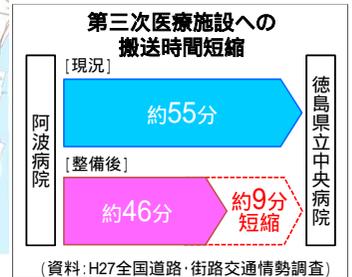
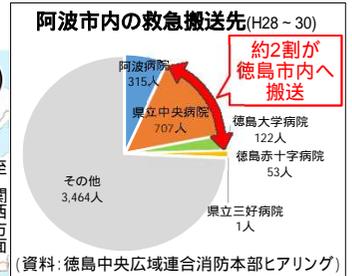
- 路線名 : 徳島自動車道
(土成IC ~ 脇町IC間)
- 設置場所 : 徳島県阿波市
- 接続形式 : 本線直結型
- 形式 : 上り方向 (2/4) (徳島方面)
- 運用形態 : 全車種 24時間

< 位置図 >



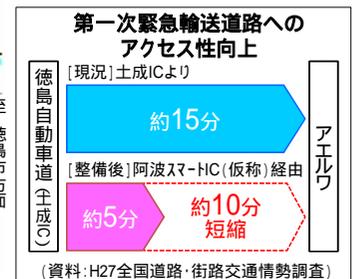
整備効果 救急医療活動を支援

スマートICの整備により、阿波市から徳島市内の第三次医療施設への搬送において、高速道路へのアクセスが向上することから、迅速な搬送に繋がり、救急医療活動を支援する。



整備効果 災害発生時の物資輸送活動を支援

スマートICの整備により、第一次緊急輸送道路である徳島自動車道から広域物資輸送拠点施設「アエルワ」のアクセス性が改善され、阿波市の防災機能の向上や周辺地域への物資輸送活動の効率化が期待される。



スマートインターチェンジ新規事業化等箇所の整備効果

参考資料

山陽自動車道 吉備スマートIC

大型車対応化・24時間化

<概要>

路線名：山陽自動車道

(岡山IC ~ 岡山JCT間)

設置場所：岡山県岡山市

接続形式：SA・PA接続型

形式：全方向 (4/4)

運用形態：全車種 24時間

現在は小型車限定(車長6m以下)、
時間制限有り(6時~22時)

<位置図>



整備効果 岡山市中心部への分散導入

・国道180号線総社・一宮バイパスと吉備スマートICを直接接続することで高速道路とのアクセス性が向上し、岡山市中心部への交通の分散導入効果や岡山市中心部の渋滞解消効果が期待される。



整備効果 防災体制の強化

・災害時における防災拠点間の大型車での輸送が可能になると同時に、アクセス経路の多重化や距離短縮が図られることで防災体制の強化が期待される。



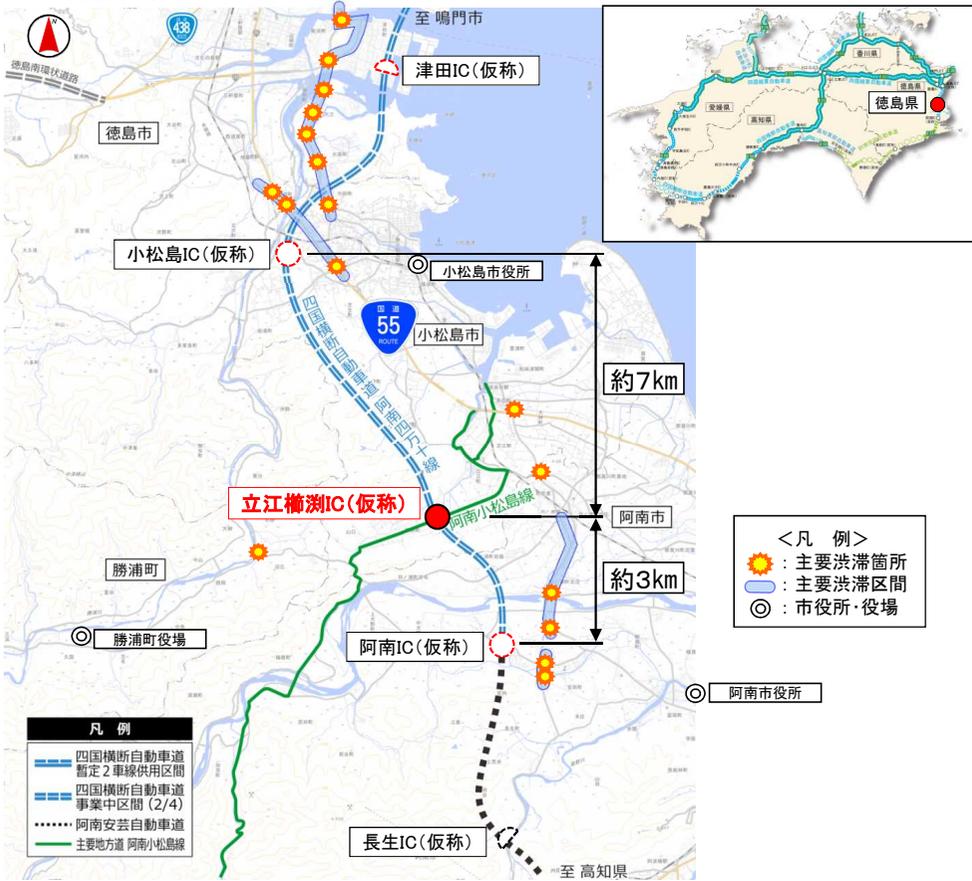
追加インターチェンジ(無料区間)の整備効果

■四国横断自動車道 立江櫛渚IC(仮称)

<概要>

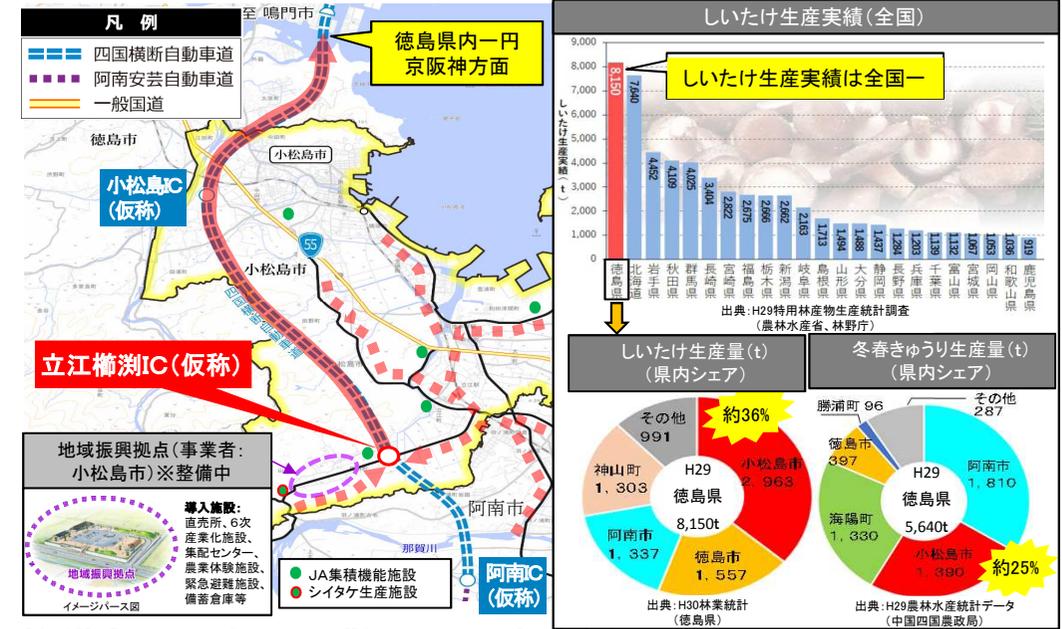
- 路線名 : 四国横断自動車道 阿南四万十線
(阿南IC(仮称)～小松島IC(仮称)間)
- 設置場所 : 徳島県小松島市
- 接続形式 : 本線直結型
- 形式 : 全方向 (4/4)

<位置図>



整備効果 地場産業の活性化

・各種農産物(しいたけ、きゅうり等)の集配センターとなる地域振興拠点からの輸送環境及びアクセス性の向上が図られ、商圈の拡大や地場産業の活性化等へ貢献



整備効果 交通分散による渋滞緩和

・幹線道路の交通量が四国横断自動車道に転換・分散することで、主要渋滞箇所への流入交通が減少し、周辺道路の渋滞を緩和

